

## 目 次

### 架空送電設備の絶縁設計調査 専門委員会

委員会組織	( 1 )
作業会組織	( 3 )
第1章 総 説	( 4 )
1-1 委員会設立の経緯と背景	( 4 )
1-2 研究の概要	( 4 )
1-3 語句の定義と説明	( 7 )
1-4 参考文献の表示について	( 7 )
第2章 既設送電設備の実態	( 9 )
2-1 調査の目的	( 9 )
2-2 絶縁材料の実態と設備量の変遷調査	( 9 )
2-2-1 調査条件	( 9 )
2-2-2 絶縁設備の実態調査結果	( 9 )
2-2-3 設備量の変遷調査結果	( 12 )
2-3 電気事故調査	( 17 )
2-3-1 調査条件	( 17 )
2-3-2 電気事故調査結果	( 17 )
第3章 絶縁設計の現状調査	( 21 )
3-1 調査の目的	( 21 )
3-2 現状の絶縁設計	( 21 )
3-2-1 雷に対する絶縁	( 21 )
3-2-2 開閉サージに対する絶縁	( 22 )
3-2-3 汚損に対する絶縁	( 22 )
3-3 絶縁設計に關わる技術評価	( 25 )
3-3-1 過電圧	( 25 )
3-3-2 絶縁距離	( 29 )
3-3-3 汚損耐電圧	( 32 )
3-3-4 雷害	( 34 )
3-3-5 地震	( 38 )
3-3-6 火山灰	( 40 )
第4章 絶縁設計・材料に関する技術調査	( 42 )
4-1 調査の目的	( 42 )
4-2 調査項目	( 42 )
4-3 絶縁技術の調査	( 44 )
4-3-1 過去に開発された技術	( 44 )
4-3-2 今後進歩が期待される技術	( 62 )
4-3-3 汎用的な解析技術	( 65 )

第5章 海外の絶縁設計に関する技術調査	( 85 )
5-1 調査の目的	( 85 )
5-2 海外の絶縁設計基準	( 85 )
5-2-1 過電圧	( 85 )
5-2-2 絶縁距離	( 86 )
5-2-3 耐汚損設計	( 90 )
5-3 海外の絶縁技術調査	( 94 )
5-3-1 氷雪害	( 94 )
5-3-2 雷害	( 97 )
5-3-3 地震	( 98 )
5-3-4 火山灰	( 98 )
5-3-5 がいし（磁器、ガラス）	( 99 )
5-3-6 ポリマーがいし	( 102 )
第6章 絶縁設計技術の方向性と今後の展望	( 112 )
6-1 内部異常電圧	( 112 )
6-2 新素材がいしの適用とコンパクト化	( 112 )
6-3 地域気象条件による絶縁設計の合理化	( 112 )
6-4 送電用避雷装置と系統信頼性（雷事故率）	( 112 )
6-5 レジリエンス強化と絶縁設計	( 112 )
6-6 建設費用、保全費用の削減	( 113 )
付録1 塩害汚損区分別鉄塔基数	( 114 )
付録2 2-2-2節に関する補足（設備量データベース）	（電子データのみ）
付録3 4-3-3節に関する補足	( 115 )
付録4 4-3-1節に関する補足	( 120 )
付録5 4-3-2節に関する補足	( 123 )